



龍神社御旅所 (明治40年頃)



だんじり (明治40年頃)



人力車に乗る神職 (昭和20年代)



神幸祭 (明治40年頃)



正面石段を下る供人 (昭和41年)



神幸祭 (昭和31年)

神幸行列対比表

No	神幸行列 (江戸期)	神幸行列 (昭和3年)	神幸行列 (現在)
1	御先祓帚	御先祓役 (御先帚)	先導総代: せんだうそうだい
2	埴竹: らちだけ	御幟: おんのぼり	御先帚: おんさきほうき
3	取締帯江領早島領足輕	赤面: あかめん	青竹: あおだけ
4	大麻	黒面: くろめん	御幟: おんのぼり
5	幟	太鼓: たいこ	御先太鼓: おんさきたいこ
6	赤面	鐘: かね	白熊: はぐま
7	黒面	白熊: はぐま	宮獅子: みやじし
8	太鼓	獅子: しし	鎗: やり
9	鐘鼓: しょうこ	行列見繕: ぎょうれつけんぜん	鉄砲: てっぽう
10	白熊: はぐま	長柄: ながえ	御弓: おんゆみ
11	獅子	行列見繕	大鉢: おおほこ
12	小頭: こがしら	獅子	神楽太鼓: かぐらたいこ
13	長柄鎗: ながえやり	鉄砲: てっぽう	真神: まさかき
14	小頭	御弓: おんゆみ	宮獅子
15	獅子	矢筒: やづつ	大麻: おおぬさ
16	鉄砲	行列見繕	五色幣: ごしきべい
17	獅子	獅子	四神旗: ししんき
18	弓	行列見繕	御弓
19	行列見繕: ぎょうれつけんぜん	傘鋒: かさほこ	御太刀: おんたち
20	武者: むしゃ	合鐘: あいかね	(中) 総代
21	大鉢: おおほこ	神楽太鼓: かぐらたいこ	賽銭箱: さいせんぼこ
22	獅子: しし	神馬: しんめ	青竹
23	獅子	神: さかき	神輿 (鶴崎神社) 神輿曳き 26人
24	行列見繕	五色幣: ごしきべい	御弓
25	神子: しんこ	四神鋒: ししんほこ	御太刀
26	調拍子	御具足櫃: おんぐそくひつ	神輿 (八幡神社) 神輿曳き 16人
27	神楽太鼓: かぐらだいこ	行列見繕	青竹
28	鐘: かね	御徒士: おんかちがしら	神職
29	神馬: しんめ	賽銭箱: さいせんぼこ	総代長
30	五色幣: ごしきべい	御弓	(後) 総代
31	四神鋒: ししんほこ	御太刀: おんたち	
32	具足櫃: ぐそくひつ	神輿 (鶴崎神社) 台持ち 16人	
33	楯: たて	御弓	
34	行列見繕	御太刀	
35	先き箱	神輿 (八幡神社) 台持ち 8人	
36	鳥毛: とりげ	だんじり	
37	獅子		
38	御歩行		
39	賽銭箱		
40	神官: しんかん		
41	埴竹		
42	御弓		
43	御太刀		
44	渡御奏楽: とぎょそうがく		
45	御崎宮御輿 16人		
46	奉供氏子庄屋中		
47	取締早島領足輕		
48	御輿警護		
49	御輿台持		
50	埴竹		
51	御弓		
52	御太刀		
53	八幡神社御輿 8人		
54	奉供氏子年寄中		
55	御輿警護		
56	大工		
57	御輿台持		
58	神官		
59	埴竹		
60	囃壇尻: はやしだんじり		
61	総取締宮崎、前湯庄屋		
62	取締帯江領、早島領足輕		
63	御休所神饌		
64	御旅所奏楽		
65	御入山奏楽		
66	行列中総取締		
67	棒持		



い。時にははさみうちにされて逃げまどったことも度々あった。それでもからかう子供は、カバンをしつかり抱えて、ヘッピリ腰で「鬼よ、ポロポロ、オンポロポロ、きゃーて(買手)がにゃー(無い)」としきりにからかう。鬼は棒で地面をつつきながら子供たちをにらみつけて地団太を踏んでいる。

楽しい思い出がいきいきと描かれている。鬼は一時衰退し、現在は復活しているが、明治のころは現在より盛んであったようだ。神幸祭の順路は、当初宮崎橋を渡って川沿いの通称「だんじり道」を通って弁才天御休所までの往復であったが、その後、龍神社まで延長され、町筋の往復から往路町筋、復路川筋とな

り、片田付近の順路変更や御旅所の追加などが行われた。その後、西田、高須賀を回る現在の順路が確立され、御旅所もJA豊洲支店、元JA高須賀支店西路上、弁才天、片田、龍神社、前湯公民館、JA早島支店の七ヶ所となった。